

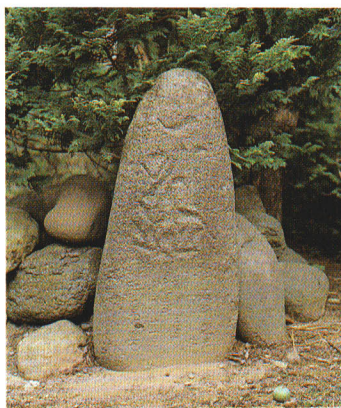
## 供養碑

供養碑は、石造供養塔婆または板碑といわれる。

形は頭部が三角形で二本の横線、その下に種子(種字ともい  
う)造立年月日、建立の趣意などが、厚手の板碑や自然石に刻  
まれている。このほか板碑の中には、阿弥陀三尊来迎像や一尊  
像をあらわしたものもある。これらは追善供養や信者があらか  
じめ善徳を施し、死後の極楽往生を願う逆修供養のものが多い。  
供養碑は、鎌倉時代末から南北朝の動乱、戦国時代の争乱など  
と動揺する社会不安のなかで生み出された、中世の人々の心か  
らの祈願の信仰であって、現在に伝える貴重な文化遺産である。

### \*豊川町太田の供養碑

この供養碑は、種子の下にそれをかかえるように蓮華座が刻ま  
れてあり、鎌倉時代末永仁五年(一二九七)の供養碑として当地  
方でもっとも古いものである。自然石でできており、高さ八五  
センチ幅三九センチ、厚さ二二センチで、種字は「アン」である。



銘文に、「右意趣者

三月

永仁五年

十一日

為藤原朝臣也」とある。

所在地 豊川町 吉川昌男氏宅

指定年月日 昭和五十九年七月十二日

### \*豊川町菅井の供養碑

この供養碑は、碑の中央に「南無妙法蓮華經」と刻まれてあ  
り、珍しいものといわれ貞治三年(一二六四)室町時代初期の  
ものである。これは、日蓮宗徒の造立した題目板碑で、会津地  
方唯一のものである。供養碑は、一部破損しているが、高さ六  
六センチ、幅三九センチ、厚さ二二センチで、首部に一本の横  
線が入っている。

銘文に、

多宝如来

奉為慈  
父三十三  
年造立

南無妙法蓮華經 孝子道妙  
敬白

貞治三年

积迦牟尼仏 八月一日」とある。

指定年月日 昭和五十九年七月十二日



### \*関柴町布流高橋家の供養碑

関柴町布流高橋家にある供養碑は、草行書体で刻まれており、  
観応三年(一二三二)室町時代  
初期のものである。

銘文に、

「天聖無動

無口住口

徂住衆生

一念心中

観応三年

